

## 第 1 回評価委員会における主な意見の概要

1. これまでの目標において、良い取り組みがあった部分が新しい目標で触れられていない。例えば、教育の質保証。府大は国際通用性の高い教育カリキュラムを展開の記載があるが、これが無くなっている。

- 1 大阪公立大学に関する目標の「(5) 国際力の強化に関する目標」において、「国際通用性の高い教育カリキュラムの整備」について記載いたしました。
- また、上記の他、新大学基本構想を踏まえ、「(1) 教育に関する目標」、「ア 人材育成方針及び教育内容」の学士課程における目標や、「(2) 研究に関する目標」についても記載を修正しております。

2. 大学院課程においては、平板な書き方になっている。研究人材を育成していくという強い意志が感じられにくい。  
強い意志を感じる言葉が欲しい。高いレベルの目標を設定するんだということを強調いただきたい。

- 1 大阪公立大学に関する目標の「(1) 教育に関する目標」、「ア 人材育成方針及び教育内容」における、大学院課程の目標において、新大学基本構想を踏まえ、「基礎的・応用的研究をリードできる研究者や、社会を支えけん引する実践力を備えた高度専門職業人を育成する」と記載内容を変更いたしました。

3. 高専の社会貢献に関する目標のア、現行にあった研究成果の発信について変更案でも引き続き記載されている。一方で、研究に関する目標については、削除されている。  
高専の目標から研究が消えていて、研究が位置づけられていないのに、社会貢献の目標に研究に関する目標が出てくるのはおかしい。再検討いただきたい。

- 高専に関する目標の「(2) 社会貢献等に関する目標」、「ア」について、「研究成果の発信と社会への還元」とした項目を、高専の主な目的である「教育成果の社会への提供」という趣旨を踏まえ、「産学連携の推進」に変更し、目標の記載内容についても変更いたしました。

4. 第 3 において、大学の統合効果を最大限発揮できるように記載があり「学長及び校長は」と記載されている。大学の統合効果というところが高専も含んでいるのかどうか記載がわかりづらい。

- 「第 3 業務運営の改善及び効率化に関する目標」、「1 運営体制」について、理事長は法人運営、学長及び校長は教育研究等を推進することを従前のおり記載したうえで、法人・大学・高専において大学の統合効果を最大限発揮して取組む旨に、記載を改めました。

5. 大学の統合効果についてきちんと整理し、明記すべきである。

○ 前文の上から7段落目(下から3段落目)に、大学の統合効果を整理し明記いたしました。

【追記内容】

こうした方向性に基づき、大阪公立大学は、両大学が有する教育研究資源を総合的かつ戦略的に活用し、教育力、研究力、社会貢献力を一層向上させることや、両大学が強みを持つ分野の融合研究により大阪の都市課題の解決や産業競争力の強化に貢献すること、選択と集中による効率的かつ効果的な大学運営を実現することなど、大学統合による効果を最大限発揮させる。